



平成 17 年 11 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社 スパンクリートコーポレーション

所 在 地 東京都文京区本郷四丁目 9 番 2 5 号

代表者の 代表取締役社長

役職氏名 原 田 穰

(銘柄コード 5 2 7 7)

問合せ先

企画室長 村 山 典 子

TEL 0 3 (5 6 8 9) 6 3 1 1

平成 1 8 年 3 月期中間 (連結・個別) 業績予想との差異及び
通期 (連結・個別) 業績予想の修正に関するお知らせ

平成18年3月期 (平成17年4月1日～平成18年3月31日) の業績予想について、平成17年5月25日付当社決算短信(連結・個別)にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1 . 平成 18 年 3 月期 連結業績予想の修正等

(1) 中間期 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 9 月 30 日)

(単位 : 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	2 , 8 0 0	1 0 0	9 0
今回修正 (B)	2 , 2 5 2	7 4	7 3
増減額 (B - A)	5 4 8	2 6	1 7
増 減 率	1 9 . 6 %	2 6 . 0 %	1 8 . 9 %

(2) 修正理由

売上高につきましては、スパンクリート部門において、当初計画に織り込んでおりましたPC鋼線等の原材料費の高騰を吸収するための販売価格改善の実現が一部遅延し、加えて販売数量も計画比未達に終わりましたことから、22億5千2百万円と予想比5億4千8百万円の減少となる見込であります。

経常利益と当期純利益につきましても、上述の理由からそれぞれ7千4百万円（当初予想比：2千6百万円の減少）と7千3百万円（同：1千7百万円の減少）になる見込であります。

(3) 通期（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	7,000	330	230
今回修正（B）	6,000	-	-
増減額（B - A）	1,000	-	-
増減率	14.3%	-	-

(4) 修正理由

スパンクリート部門において、前述のとおり中間期における販売価格の改善が遅延したことに加え年間の販売数量が計画比減少となることから、売上高につきましては、当初予想より10億円減少の60億円へ減額修正させていただきます。

但し、経常利益と当期純利益につきましては、スパンクリート部門の価格も下半期には改善できる見込であり、加えて不動産部門及び余資運用は順調な利益計上が見込まれることから、修正せず前回予想のとおりといたします。

(5) ご参考：前期の実績（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期（16/4～16/9）	1,956	10	3
通期（16/4～17/3）	4,501	153	69

2. 平成18年3月期 個別業績予想の修正等

(1) 中間期（平成17年4月1日～平成17年9月30日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	2,800	100	90
今回修正（B）	2,252	81	80
増減額（B - A）	548	19	10
増減率	19.6%	19.0%	11.1%

(2) 修正理由

中間連結業績と同様の理由で、売上高につきましては、22億5千2百万円と予想

比5億4千8百万円の減少となる見込であります。

経常利益と当期純利益につきましても、上述の理由からそれぞれ8千1百万円（当初予想比：1千9百万円の減少）と8千万円（同：1千万円の減少）になる見込であります。

(3) 通期（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	7,000	330	230
今回修正（B）	6,000	-	-
増減額（B - A）	1,000	-	-
増減率	14.3%	-	-

(4) 修正の理由

通期の連結業績予想と同様であります。

(5) ご参考：前期の実績（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期（16/4～16/9）	1,887	39	21
通期（16/4～17/3）	4,427	165	76

以上